

葛工!!ピンチ



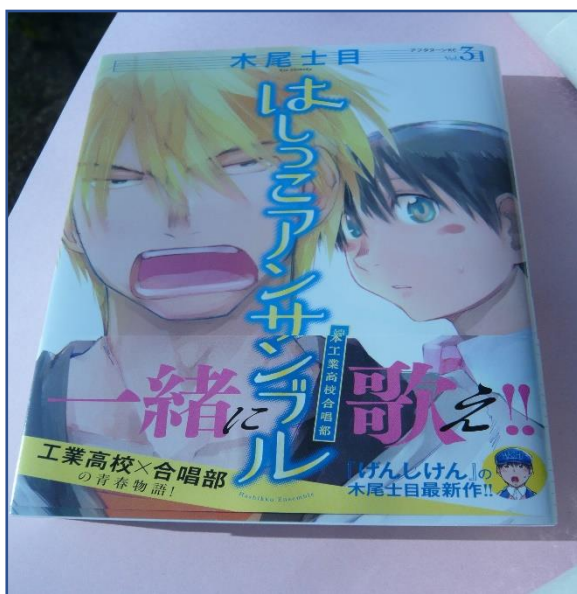
令和元年 12月 19日 発行

★皆さまのスマホのディスプレイに、親指と人差し指を乗せ、二本の指で押し広げるように、画面の一部を拡大することを、ピンチアウト (Pinchout) と呼びます。そこで葛工の最近の話題やトリビアを、ピンチアウトするようにお伝えしたい、そんな思いで「葛工!!ピンチ」と名付けました。「葛工がピンチ (危機)」なわけではありませんから、勘違いなさいませぬよう、ご用心ご用心。

a pinch of esprit



先日、今年の「流行語大賞」「今年の漢字」が発表されました。いよいよ令和元年も、終わりに近づいてきました。この「葛工ピンチ」でも、葛西工業の出来事をいろいろお伝えしましたが、その中でも思い出深いものを選ぶとすれば、夏に本校を訪れていただいた、木尾士目先生の特集号でしょう。まんがのモデルになっている都立高校なんて、そうそうありませんぜ。この一年を振り返りがてら、本校がモデルになっている「端本工業高校」の青春物語、『はしっこアンサンブル』第三巻 (講談社・アフタヌーンKC / 今年9月に発行) を再読しています。



第三巻では、端工合唱同好会のレギュラーメンバーが、屈指の合唱強豪校、私立西ヶ淵高校合唱へ出向き (まるでサムライの武者修行のように!!) 合同練習へ参加します。新しい舞台を迎え、新しい登場人物も増え、新たな人間関係から生まれるストーリー展開については、どうぞ第三巻をお読みいただき、木尾ワールドをたっぷり味わってください。さてそのなかで、折原くん (表紙写真左側の金髪男) が「超歌いてエ～」と呟く一曲があ

りました。ヨハネス・ブラームス作曲『2つのモテット』74番。こんな曲がちらっと出てくるあたり、『はしっこ』はなかなか侮（あなど）れない、本格的な合唱ドラマです。ブラームスは19世紀のドイツ音楽界で、バッハ、ベートーベンと並んで「3大B」と称された大作曲家で、作品名にも出てくる「モテット」とは、ミサ曲以外のポリフォニー（複数声部による音楽）宗教曲を指します。ところで宗教曲といえば、どうしてもクリスマスを連想します。これを読んでいるあなたは、クリスマスソングというと、どんな歌を思い浮かべることでしょうか。山下達郎さんの『クリスマスイブ』？ 奥様である竹内まりやさんの『すてきなホリデイ』（=ケンタッキー・フ●イド・●キンのCFソング）？ あるいは…？

いま葛工の4階フロアでは、建築科の生徒たちが作成した、こんなツリーが飾られています。もし葛工にも合唱部同好会や合唱部があったら、この前でクリスマスコンサートを開いたことでしょうか。そのとき彼らは、何を歌うのだろう。

12月22日の入試説明会、お待ちしております。どうぞツリーも見て下さい。

